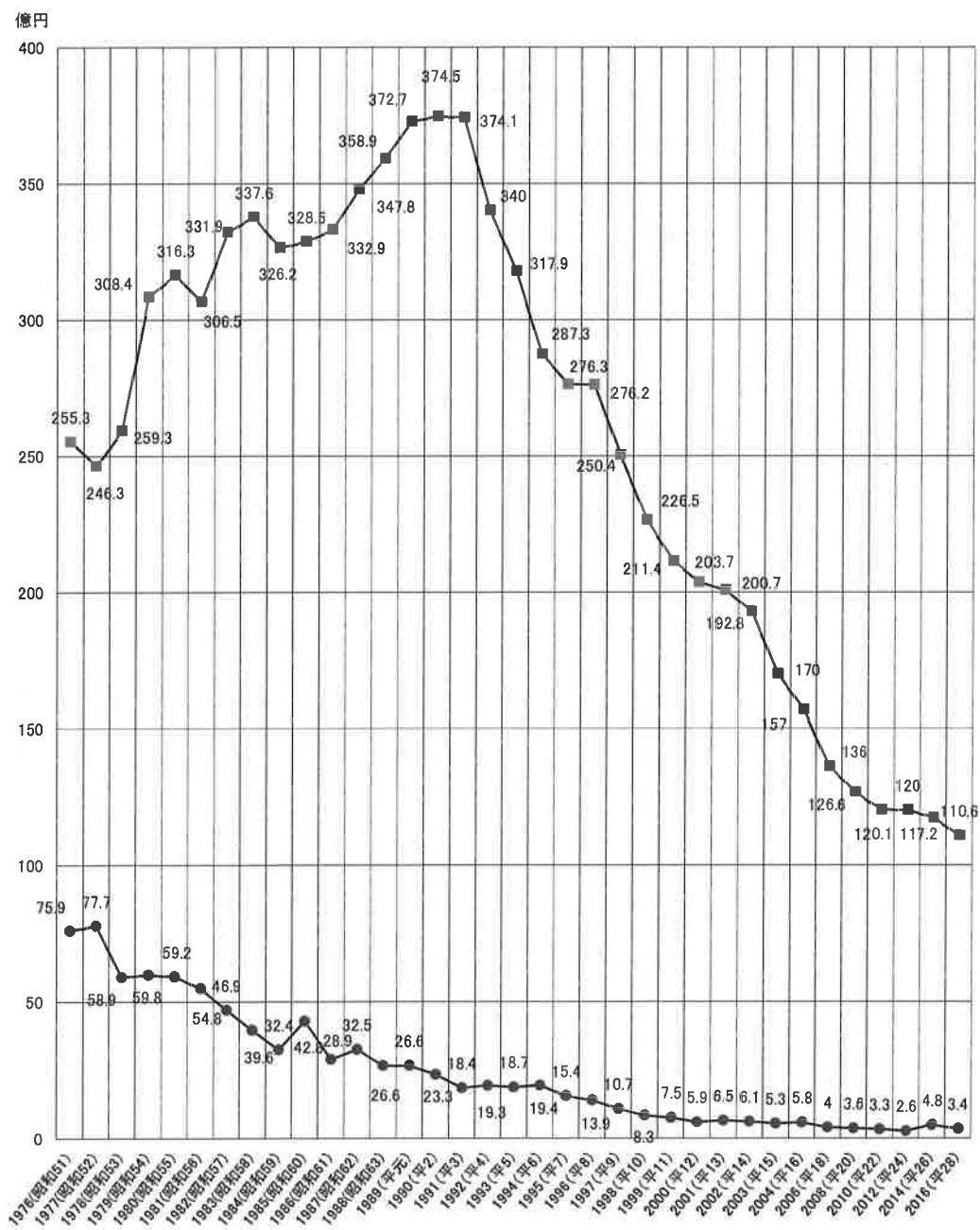


【銅・鉄器販売額の推移】

(単位:千円、%)

年	銅器(非鉄合金含む)		鉄器	
	販売額	前回比	販売額	前回比
2008(平20)	12,663,332	93.1	364,220	—
2010(平22)	12,008,207	94.8	325,866	89.5
2012(平24)	12,000,720	99.9	261,688	80.3
2014(平26)	11,724,517	97.7	478,193	182.7
2016(平28)	11,069,684	94.4	341,982	71.5



高岡の銅・鉄器

【銅器品種別販売額】

(単位:千円、%)

品種	2016(平成28年)		2014年(平成26年)		前回比
	販売額	構成比	販売額	構成比	
神 仏 具	6,132,706	55.4	7,341,376	62.6	83.5
室 内 置 物	334,982	3.0	371,719	3.2	90.1
花 器	311,387	2.8	363,139	3.1	85.7
屋 外 置 物	530,004	4.8	546,919	4.7	96.9
香 炉	308,649	2.8	268,333	2.3	115.0
茶 道 具	312,994	2.8	197,982	1.6	158.1
そ の 他	3,138,962	28.4	2,635,049	22.5	119.1
計	11,069,684	100.0	11,724,517	100.0	94.4

※その他…文具・小物、パネル、エクステリア製品、テーブルウェア、アクセサリ等。

【鉄器品種別販売額】

(単位:千円、%)

品種	2016年(平成28年)		2014年(平成26年)		前回比
	販売額	構成比	販売額	構成比	
室 内 置 物	81,872	23.9	99,764	20.9	82.1
文具・小物等	37,597	11.0	55,710	11.7	67.5
茶 道 具	116,886	34.2	168,709	35.3	69.3
そ の 他	105,627	30.9	154,009	32.1	68.6
計	341,982	100.0	478,193	100.0	71.5

※その他…花器、屋外置物、香炉、テーブルウェア、アクセサリ等。

【銅器品種別販売額及び割合の推移】

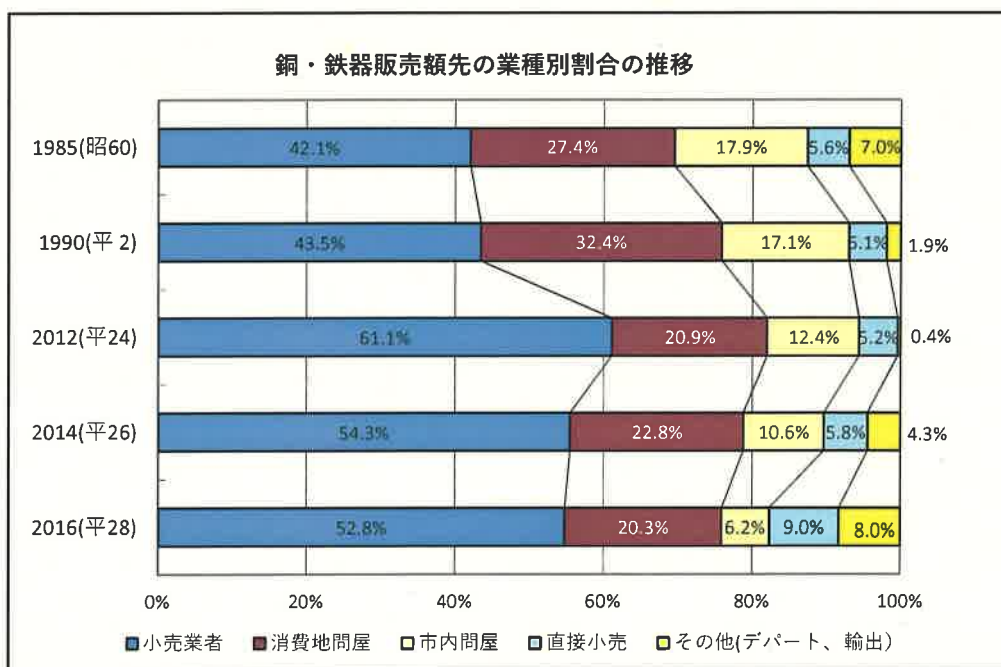
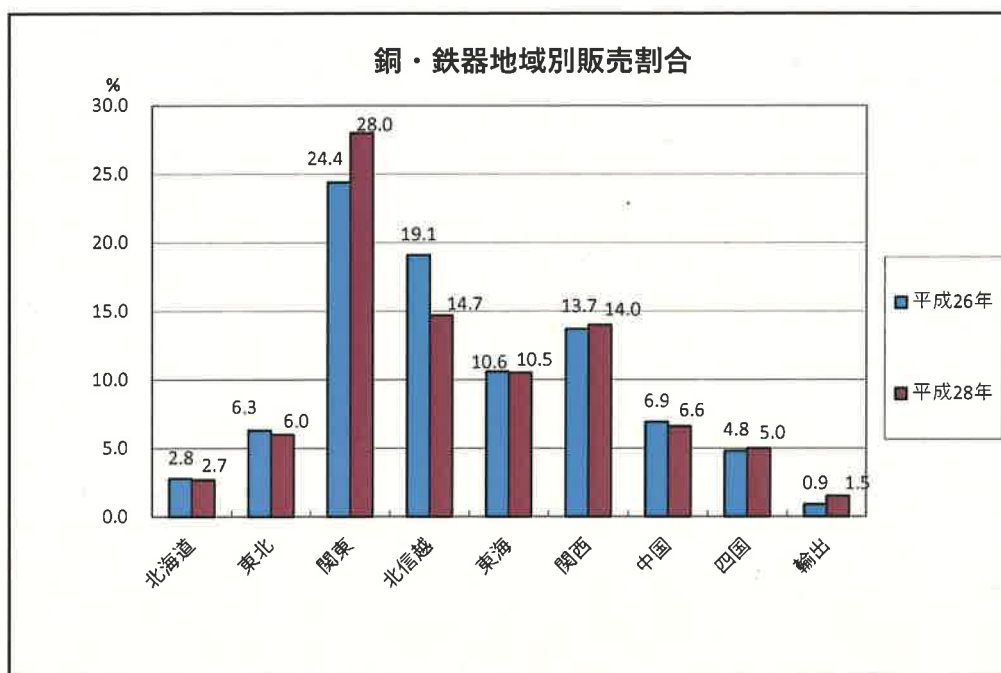
(単位:億円、%)

品種	2016(平28)		2014(平26)		2012(平24)		1990(平2)		1985(昭60)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
神 仏 具	61.3	55.4%	73.4	62.6%	74.8	62.3%	143.8	38.4%	121.6	37.0%
室 内 置 物	3.3	3.0%	3.7	3.2%	5.2	4.3%	52.2	13.9%	58.5	17.8%
花 器	3.1	2.8%	3.6	3.1%	4.5	3.7%	61.6	16.4%	51.5	15.7%
屋 外 置 物	5.3	4.8%	5.5	4.7%	5.8	4.8%	38.5	10.3%	26.6	8.1%
香 炉	3.1	2.8%	2.7	2.3%	4.4	3.7%	17.7	4.7%	16.6	5.1%
茶 道 具	3.1	2.8%	2.0	1.7%	1.8	1.5%	25.3	6.8%	21.7	6.6%
そ の 他	31.4	28.4%	26.3	22.4%	23.6	19.7%	35.4	9.5%	32	9.7%
計	110.6	100.0%	117.2	100.0%	120.1	100.0%	374.5	100.0%	328.5	100.0%

【鉄器品種別販売額及び割合の推移】

(単位:億円、%)

品種	2016(平28)		2014(平26)		2012(平24)		1990(平2)		1985(昭60)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
室 内 置 物	0.8	22.9%	1.0	20.8%	0.5	20.8%	12.3	52.8%	25.3	59.1%
文具・小物等	0.4	11.4%	0.6	12.5%	0.2	8.3%	4.9	21.0%	7.3	17.1%
茶 道 具	1.2	34.3%	1.7	35.4%	0.1	4.2%	3.0	12.9%	3.4	7.9%
花 器	0.4	11.4%	0.5	10.4%	0.4	16.7%	0.8	3.4%	1.7	4.0%
そ の 他	0.7	20.0%	1.0	20.8%	1.2	50.0%	2.3	9.9%	5.1	11.9%
計	3.5	100.0%	4.8	100.0%	2.4	100.0%	23.3	100.0%	42.8	100.0%



【鑄造法別事業所数と生産額】

○銅器

(単位: 千円、%)

製法	2016年(平成28年)			2014年(平成26年)			前回比	
	事業所数	年間生産額	構成比(%)	事業所数	年間生産額	構成比(%)	事業所数	生産額
生 型	27	1,938,184	49.4	27	2,308,559	51.9	100.0	84.0
焼 型	5	62,826	1.6	6	94,528	2.1	83.3	66.5
双 型	6	129,780	3.3	6	150,428	3.4	100.0	86.3
ガ ス 型	14	650,174	16.6	13	666,925	15.0	107.7	97.5
蠟 型	1	7,761	0.2	1	7,315	0.2	100.0	106.1
ロストワックス	7	230,407	5.9	8	308,646	6.9	87.5	74.7
金 型	1	158,098	4.0	3	576,995	13.0	33.3	27.4
そ の 他	11	745,109	19.0	12	333,233	7.5	91.7	223.6
計	72	3,922,338	100.0	76	4,446,629	100.0	94.7	88.2

※同一事業所で複数の製法を行っている場合は、事業所数を重複して計上した。

○鉄器

(単位: 千円、%)

製法	2016年(平成28年)			2014年(平成26年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額	構成比	事業所数	年間生産額	構成比	事業所数	生産額
生 型	2	47,000	47.4	2	58,796	36.6	100.0	79.9
双 型	2	36,283	36.6	2	64,529	40.2	100.0	56.2
そ の 他	3	15,798	15.9	3	37,351	23.2	100.0	42.3
計	7	99,081	84.1	7	160,676	76.8	100.0	61.7

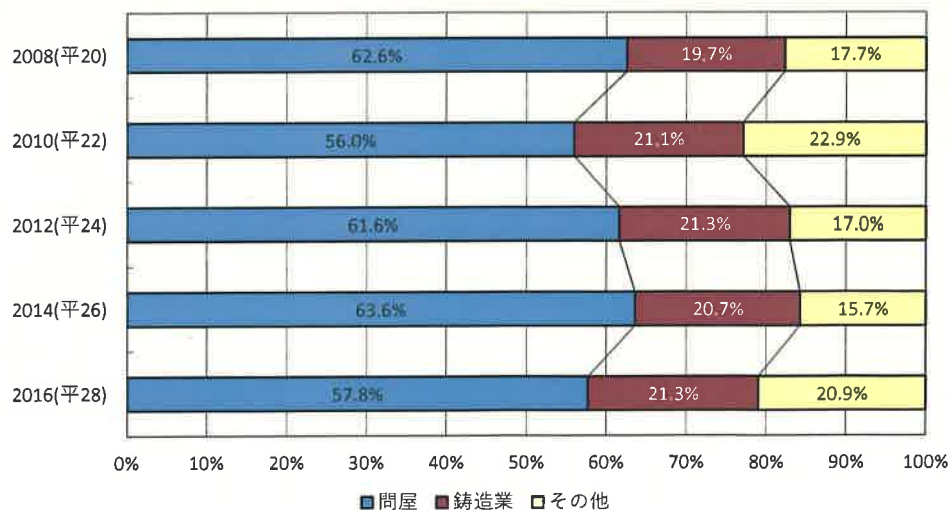
※その他…ガス型、蠟型、ロストワックス等

【加工工程別事業所数と加工額】

(単位: 千円、%)

品種	2016年(平成28年)			2014年(平成26年)			前回比	
	事業所数	加工額	構成比	事業所数	加工額	構成比	事業所数	加工額
溶 接	3	7,886	1.3	4	10,766	1.7	75.0	73.2
研 磨	15	114,152	18.5	17	125,875	20.0	88.2	90.7
彫 金	14	45,790	7.4	18	49,338	7.8	77.8	92.8
着 色	31	306,500	49.8	36	343,712	54.6	86.1	89.2
仕 上 げ	13	141,074	22.9	9	99,370	15.8	144.4	142.0
計	76	615,402	100.0	84	629,061	100.0	90.5	97.8

加工業の受注先



【事業所数と従事者数】

○間屋

	2016(H28)	2014(H26)	2012(H24)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	59	61	68	125	135	96.7
従事者数(人)	564	555	595	1,400	1,599	101.6
	(45)	(46)	(47)	※()…アンケート回答社数		

○鋳造

	2016(H28)	2014(H26)	2012(H24)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	60	67	71	151	164	89.6
従事者数(人)	483	617	615	1,573	1,750	78.3
	(38)	(40)	(49)	※()…アンケート回答社数		

	うち鉄器を扱う事業所	左のうち鉄器のみ
事業所数(社)	7	1
従事者数(人)	56	11

○溶接

	2016(H28)	2014(H26)	2012(H24)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	3	4	4	10	12	75.0
従事者数(人)	3	4	7	21	28	75.0

○研磨

	2016(H28)	2014(H26)	2012(H24)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	15	17	21	49	49	88.2
従事者数(人)	35	33	39	97	91	106.1

○彫金

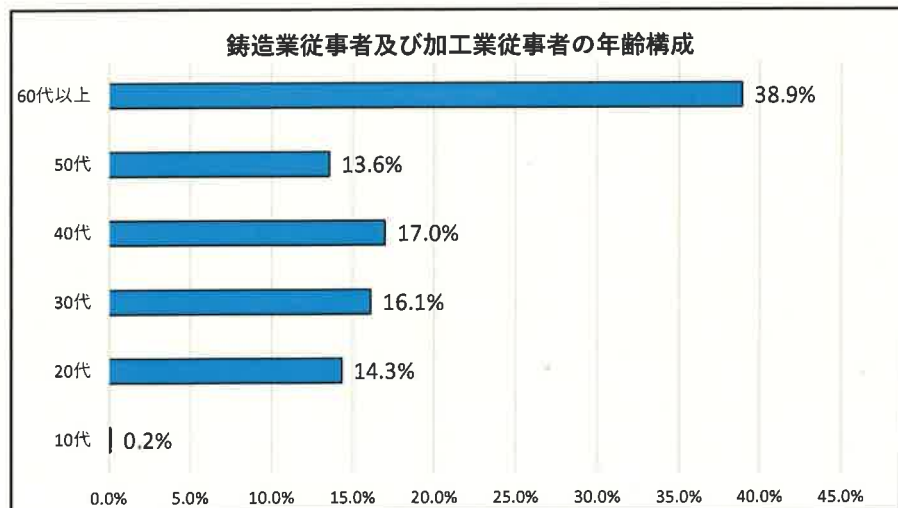
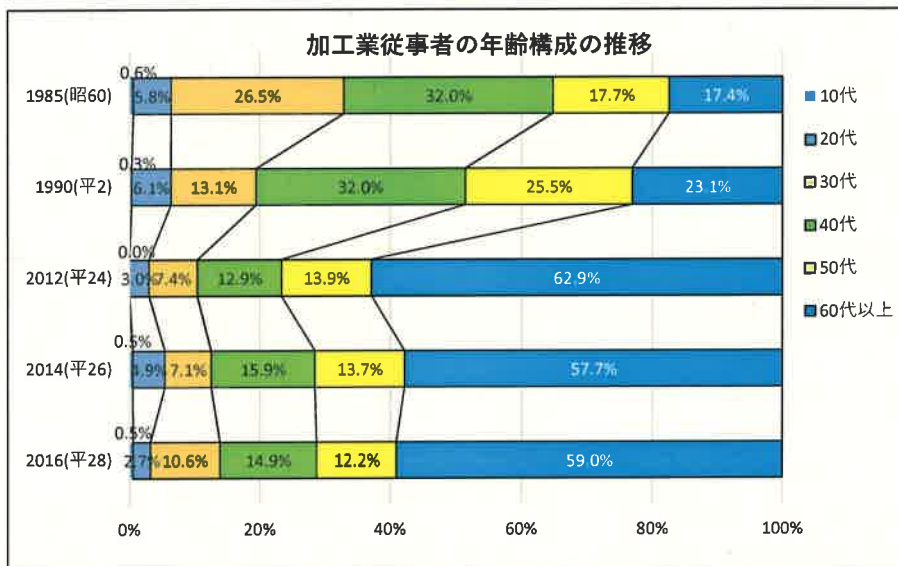
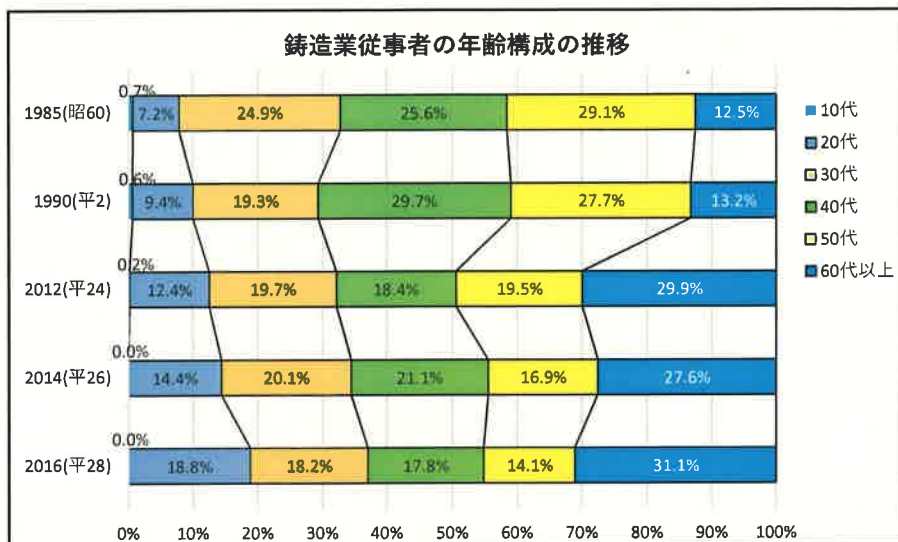
	2016(H28)	2014(H26)	2012(H24)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	14	18	18	39	45	77.8
従事者数(人)	20	23	22	97	110	87.0

○着色

	2016(H28)	2014(H26)	2012(H24)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	31	36	44	69	76	86.1
従事者数(人)	105	107	115	367	410	98.1

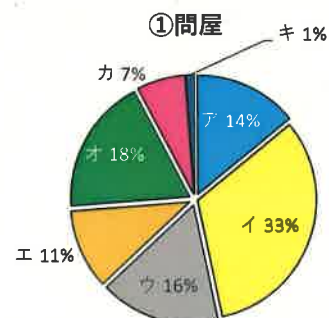
○仕上げ

	2016(H28)	2014(H26)	2012(H24)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	13	9	11	18	22	144.4
従事者数(人)	22	15	19	46	49	146.7

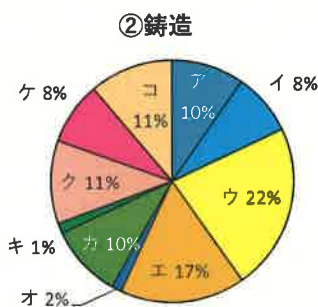


【意識調査について】

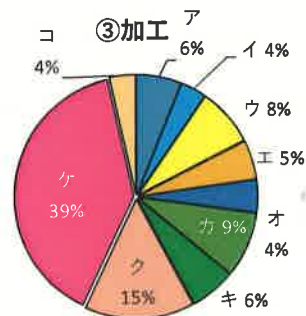
1 今後の方向性



- ア 異素材の活用
- イ 新商品の開発
- ウ 商品または産地のブランド構築
- エ 海外販路の開拓にむけた取り組み
- オ 事業の効率化による経営改善
- カ 既存のままでよい
- キ その他

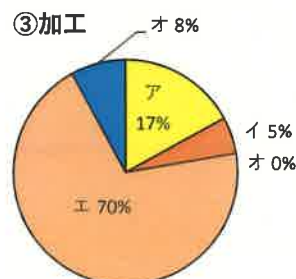
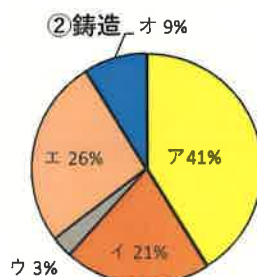
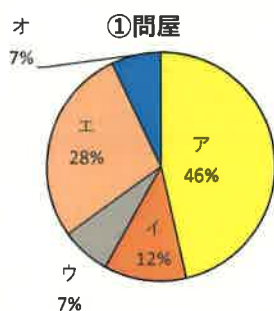


- ア 伝統技術と融合させる新技術の導入
- イ 異素材の活用
- ウ 新商品の開発
- エ 販路の開拓
- オ 工房見学・体験などの産業観光の受け入れ
- カ 文化財などの修理事業
- キ 事業の効率化による経営改善
- ク 技術承継などの後継者育成
- ケ 既存のままでよい
- コ その他



問屋は、「新商品の開発（33%）」「事業の効率化による経営改善（18%）」「商品または産地のブランド構築（16%）」の回答が多くなっており、顧客ニーズやライフスタイルに合わせた商品の開発への関心と、高岡銅器のブランド化を確立させたいという思いが強いと推測できる。また、鑄造は、「新商品の開発（22%）」「販路の開拓（17%）」の回答が多くなっており、問屋と同様、新たな商品開発や販路開拓に関心があることが分かる。一方、加工業に関しては、「既存のままでよい（39%）」との回答が多くなっている。加工業従事者の年齢構成の約6割を60代以上が占める中、変化を求めない姿勢がうかがえる。

2 後継者について



- ア このまま仕事を継ぐ予定
- イ このまま仕事を継ぐか未定
- ウ 誰かに会社を継いでほしい
- エ 自分の代で廃業してもよい
- オ 自分の代で廃業してもよいが、技術は誰かに継承してほしい

問屋は、「このまま仕事を継ぐ予定（46%）」との回答が半数近くを占め、鑄造も同じく「このまま仕事を継ぐ予定（41%）」と高くなっている。一方、「自分の代で廃業してもよい（26%）」との回答が問屋、鑄造で2番目に高くなっているとともに、特に加工業は、「自分の代で廃業してもよい（70%）」と非常に高くなっている。加工業従事者が高齢化する中で、若手の担い手を増やすとともに、これまで培ってきた高度な伝統技術・技法を伝承していくため、早急な後継者対策が必要である。